

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301164	教職実践演習（中・高） Seminar on Educational Practice	近藤 茂明 山田 陽平	専門	2	選択	4年後期
<b>科目の概要</b>						
<p>教職実践演習は、教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、本学の教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。受講生は、この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図る。それにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 使命感や責任感、教育的愛情を確認する。 ② 社会性や対人関係能力を確認する。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。 ④ 教科内容の指導力を確認する。			① 使命感や責任感、教育的愛情が身に付いている。 ② 社会性や対人関係能力が身に付いている。 ③ 生徒理解や学級経営に関する能力が身に付いている。 ④ 教科内容の指導力が身に付いている。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組んでいる。				
	働きかけ力	他人に働きかけ、巻き込んでいる。				
	実行力	目的を設定し、確実に行動している。				
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。				
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備している。				
	創造力	新しい価値を生み出している。				
チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝えている。				
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴いている。				
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解している。				
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。				
	規律性	社会のルールや人との約束を守っている。				
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応している。				
<b>テキスト及び参考文献</b>						
適宜、資料を配付する。 参考文献:『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』『教職実践演習ワークブック』 これまでの修得科目のテキスト、中高家庭科の教科書、中学習指導要領(新学習指導要領を含む)						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
資格との関連:中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭)						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
最低限、次のことに取り組むことが単位修得の条件です。 ● 教職履修カルテを読み直すこと。 ● 自己評価および他者評価を行い、自身の資質能力を的確に把握することに努めること。 ● 不足している資質能力を補う努力を行うこと。			教職課程の集大成の科目であることから、原則として、1回の欠席も認めない。実習および公式試合の場合はこのとおりではない。ただし、欠席する場合は、事前に担当教員まで連絡をした上で、補習に代える。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法, 評価にあたって重視する観点, 評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	20	①	教員採用試験等の問題を通して, 知識が身に付いているかを評価する。 ● 教員の使命や職務についての基本的事項 ● 生徒指導の基本的事項(生徒理解や学級経営に関する理解など) ● 学習指導の基本的事項(教科等の知識や技能など)
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	35	①	教員として必要な四つの資質能力に対する理解を評価する。 ● 使命感や責任感, 教育的愛情 ● 社会性や対人関係能力 ● 生徒理解や学級経営に関する能力 ● 教科内容の指導力
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	35	①	模擬授業やグループディスカッション等を見て, 担当教員の協議により総合的に評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	以下の観点それぞれに対して, 15 週を通して観察し, 評価する。 主体性 物事に進んで取り組んでいる。 働きかけ力 他人に働きかけ, 巻き込んでいる。 実行力 目的を設定し, 確実に行動している。 課題発見力 現状を分析し, 目的や課題を明らかにしている。 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし, 準備している。 創造力 新しい価値を生み出している。 発信力 自分の意見をわかりやすく伝えている。 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴いている。 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解している。 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。 規律性 社会のルールや人との約束を守っている。 ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応している。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
小テスト, レポート, 成果発表のパフォーマンスから到達レベル C に記載された事柄について判定し, 「かなり〜できる, 持っている, 身に付いている」場合は A とする。A に加えて, 評価方法に記載された社会人基礎力を少しでも発揮していれば S とする。	小テスト, レポート, 成果発表のパフォーマンスから到達レベル C に記載された事柄について判定し, 「少し〜できる, 持っている, 身に付いている」場合を C とし, 「わりと〜できる, 持っている, 身に付いている」場合は B とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	教職履修カルテ等を通して、教員として最小限必要な資質能力を身に付けているかを確認する。(山田・近藤)	演習 小テスト	自己の課題を認識し、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。  社会状況や時代の変化に伴い生じる新たな課題や生徒の変化を、進んで捉えようとする姿勢を持っている。	予習:教職履修カルテを読み直す。  復習:教員として最小限必要な資質能力を身に付けるための学修計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力
2週 /	教科内容の指導力を確認する。(1)(近藤)  教科書の内容を理解しているなど、学習指導の基本的事項(教科等の知識や技能など)を身に付けている。	演習	教科書の内容を十分理解し、教科書を介して分かりやすく学習を組み立てるとともに、生徒からの質問に的確に応えることができる。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。  2 から 11 週の予復習課題の内容は到達レベルC(可)の基準に書いてあるものを基本とし、進行状況にあわせて適宜追加修正を指示する。また、12 から 14 週に行う模擬授業の準備のために、指導案の作成を行うことも含む。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
3週 /	教科内容の指導力を確認する。(2)(近藤)  板書、話し方、表情など授業を行う上での基本的な表現力を身に付けている。	演習	板書や発問、的確な話し方など基本的な授業技術を身に付けるとともに、生徒の反応を生かしながら、集中力を保った授業を行うことができる。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
4週 /	教科内容の指導力を確認する。(3)(近藤)  生徒の反応や学習の定着状況に応じて、授業計画や学習形態等を工夫することができる。	演習	基礎的な知識や技能について反復して教えたり、板書や資料の提示を分かりやすくするなど、基礎学力の定着を図る指導法を工夫することができる。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。(1)(山田)  生徒に対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。	演習	気軽に生徒と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる  生徒の声を真摯に受け止め、生徒の健康状態や性格、生育歴等を理解し、公平かつ受容的な態度で接することができる。  誠実、公平かつ責任感を持って生徒に接し、生徒から学び、共に成長しようとする意識を持って、指導に当たることができる。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	発信力 傾聴力
6週 /	生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。(2)(山田)  生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。	演習	生徒の特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級づくりをしようとする姿勢を持っている。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	課題発見力 状況把握力
7週 /	生徒理解や学級経営に関する能力を確認する。(3)(山田)  生徒との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。	演習	生徒の特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく学級づくりをしようとする姿勢を持っている。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	課題発見力 状況把握力
8週 /	使命感や責任感、教育的愛情を確認する。(1)(近藤)  教育に対する使命感や情熱を持ち、常に生徒から学び、共に成長しようとする姿勢が身に付いている。  高い倫理観と規範意識、困難に立ち向かう強い意志を持ち、自己の職責を果たすことができる。	演習	教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職責を果たそうとする姿勢を持っている。	予習:配付資料を読む。  復習:課題に回答する。	180	主体性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	使命感や責任感, 教育的愛情を確認する。(2) (近藤) 生徒の成長や安全, 健康管理に常に配慮して, 具体的な教育活動を組み立てることができる。	演習	生徒の成長や安全, 健康管理に常に配慮して, 具体的な教育活動を組み立てることができる。	予習: 配付資料を読む。 復習: 課題に回答する。	180	課題発見力
10週 /	社会性や対人関係能力を確認する。(1) (山田) 教員としての職責や義務の自覚に基づき, 目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。	演習	挨拶や服装, 言葉遣い, 他の教職員への対応, 保護者に対する接し方など, 社会人としての基本が身についている。	予習: 配付資料を読む。 復習: 課題に回答する。	180	規律性
11週 /	社会性や対人関係能力を確認する。(2) (山田) 組織の一員としての自覚を持ち, 他の教職員と協力して職務を遂行することができる。 保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる。	演習	他の教職員の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに, 理解や協力を得ながら, 自らの職務を遂行することができる。 学校組織の一員として, 独善的にならず, 協調性や柔軟性を持って, 校務の運営に当たることができる。 保護者や地域の関係者の意見・要望に耳を傾けるとともに, 連携・協力しながら, 課題に対処することができる。	予習: 配付資料を読む。 復習: 課題に回答する。	180	働きかけ力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力
12週 /	模擬授業により実践力を確認する。(山田・近藤)	演習	自ら主体的に教材研究を行うとともに, それを活かした学習指導案を作成することができる。	予復習: 模擬授業の準備および振り返りを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
13週 /	模擬授業により実践力を確認する。(山田・近藤)	演習	自ら主体的に教材研究を行うとともに, それを活かした学習指導案を作成することができる。	予復習: 模擬授業の準備および振り返りを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
14週 /	模擬授業により実践力を確認する。(山田・近藤)	演習	自ら主体的に教材研究を行うとともに, それを活かした学習指導案を作成することができる。	予復習: 模擬授業の準備および振り返りを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	教職実践演習を通した学びを振り返り, 教員として最小限必要な資質能力を身に付けているかを確認する。(山田・近藤)	演習 小テスト	教員として最小限必要な資質能力を身に付けている。	予習: 1週目に立てた学修計画を見なおして, 教員として最小限必要な資質能力を身に付けることができたかを確認する。 復習: 教員として必要な資質能力を身に付けていることをレポートによって表現する。	180	実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力